



せたがや区議会だより

No.193

平成16年(2004年)1月1日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
TEL (5432) 1111 代表 FAX (5432) 3030
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

人と動物との共生条例などを可決 ー第4回定例会開催ー

新年を迎えて

世田谷区議会議長 六戸 教男

あけましておめでとうございませう。区民の皆様には、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は4月に統一地方選挙が行われ、新しく熊本区長が誕生すると共に、区議会でも定数を52名に減員し、そのうち15名が入れ替わるなど変革の時代を迎えました。

こうした中、前期と同様に、区民の皆様の温かいご支援をたまわりまして、新たな気持ちで、区政の発展に邁進して参ります。
長引く景気の低迷も、やや回復基調にあるとの見方が出ておりますが、区民生活は依然として厳しい状況にあります。また、治安の悪化が懸念される中、当区においては、安全で安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な取り組みが展開されております。

区議会としても、これらの施策を引き続き強化していくと共に、地域経済の活性化と福祉の向上、行財政の健全化を進める所存です。更に、明るく希望に満ちた世田谷の実現に向けて、より一層の努力を続けて参ります。
どうぞ区民の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、今年が幸多き一年でありますことを祈念いたします。新年のごあいさつといたします。

迎春



議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から27件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

●15年度補正予算 1件
一般会計(第四次)(全員賛成)
補正後の予算額は二〇九二億四六三二万六千円

●条例の新設 1件
人と動物との共生条例 (全員賛成)

●条例の改正 17件
選挙長等の報酬・費用弁償条例 (全員賛成)

○区税条例(全員賛成)
軽自動車税に関する申告について規定を整備する。

○職員退職手当条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○職員給与条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○幼稚園教育職員給与条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○公園条例(全員賛成)
次の公園を新設した。

○赤堤区民集会所を廃止する。

○保育園条例(全員賛成)
芦花保育園の位置を南鳥山2-30-17-101に変更する。

○知的障害者援護施設条例の改正等条例(全員賛成)
世田谷福祉作業所及び玉川福祉作業所を知的障害者援護施設に位置付けたことなど。

○自転車条例(全員賛成)
成城北第四自転車等駐車場を廃止した。

○公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○以上2件は、職員の給与を引き下げたことなど。

○幼稚園教育職員給与特別措置条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○法改正に伴い規定を整備する。

○印鑑条例(全員賛成)
印鑑登録原票に登録する事項から性別を削除した。

○産業振興基本条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○商店街の振興を図るため、小売店などの経営者の責務を定める。

○地区会館条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 共産

○赤堤区民集会所を廃止する。

○保育園条例(全員賛成)
芦花保育園の位置を南鳥山2-30-17-101に変更する。

○知的障害者援護施設条例の改正等条例(全員賛成)
世田谷福祉作業所及び玉川福祉作業所を知的障害者援護施設に位置付けたことなど。

○自転車条例(全員賛成)
成城北第四自転車等駐車場を廃止した。

○公園条例(全員賛成)
次の公園を新設した。

○赤堤区民集会所を廃止する。

○保育園条例(全員賛成)
芦花保育園の位置を南鳥山2-30-17-101に変更する。

○知的障害者援護施設条例の改正等条例(全員賛成)
世田谷福祉作業所及び玉川福祉作業所を知的障害者援護施設に位置付けたことなど。

○自転車条例(全員賛成)
成城北第四自転車等駐車場を廃止した。

○公園条例(全員賛成)
次の公園を新設した。

○赤堤区民集会所を廃止する。

○保育園条例(全員賛成)
芦花保育園の位置を南鳥山2-30-17-101に変更する。

○知的障害者援護施設条例の改正等条例(全員賛成)
世田谷福祉作業所及び玉川福祉作業所を知的障害者援護施設に位置付けたことなど。

○自転車条例(全員賛成)
成城北第四自転車等駐車場を廃止した。

○公園条例(全員賛成)
次の公園を新設した。

○公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

○公共物管理条例(全員賛成)
○道路占用料条例(全員賛成)
以上2件は、法改正に伴い規定を整備した。

○清掃・リサイクル条例 (賛成多数)
賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、社民、無所属
反対 共産、反政、無党派、虹

○区の指定を受けない者が再利用対象廃棄物の収集や運搬を行うことを禁止し罰則などを定める。

●工事請負契約の締結 2件
○仮称船橋公文書庫新築工事請負契約(全員賛成)
契約金額 一億九千七百五〇〇〇円
○工事概要 鉄筋コンクリート造地上6階建(管理事務室、音楽練習室、保管庫5など)

○弦巻区民センター大規模改修工事請負契約(全員賛成)
契約金額 一億九千二百五〇〇〇円
○工事概要 内装、屋外トイレ及び広場の改修(床、壁、天井の改修、扉扉・フェンス設置など)

●財産の取得 1件
○芦花保育園用建物(全員賛成)
芦花保育園として使用するため都市基盤整備公団から建物の1階部分(南鳥山2-30-17-101)などを取得する。
買収金額 二億九千九百九十九万二千九百六十九円

●区道路線の認定 4件
賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、共産、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 無党派

●町区域の変更 1件
賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生ネ、政策、共産、社民、反政、無党派、虹、無所属
反対 無党派

名称	所在地	延長(m)
大道北記念公園	上祖師谷6-11-9	56・79
北鳥山四丁目緑地	北鳥山4-45-60	59・92
北鳥山4-45		93・27
北鳥山4-45		138・53

所在地	延長(m)
北鳥山4-45	56・79
北鳥山4-45	59・92
北鳥山4-45	93・27
北鳥山4-45	138・53

所在地	延長(m)
北鳥山4-45	56・79
北鳥山4-45	59・92
北鳥山4-45	93・27
北鳥山4-45	138・53

所在地	延長(m)
北鳥山4-45	56・79
北鳥山4-45	59・92
北鳥山4-45	93・27
北鳥山4-45	138・53

所在地	延長(m)
北鳥山4-45	56・79
北鳥山4-45	59・92
北鳥山4-45	93・27
北鳥山4-45	138・53

8ページへ続く

平成16年(2004年)年頭に当たって 平成15年12月16日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとうございませう。

昨年は、区民の皆様にご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。年頭にあたり、私たちの決意の一端を述べさせていただきます。

さて昨年、国政では、衆議院議員選挙が行われ、「改革なくして成長なし」を旗印に、国の構造改革を断行してきた自民党を始めとする連立政権の政策が支持されたことと、改革の芽を大木へと成長させるための新たなスタートが切られました。

区においても、今まさに危機的財政状況に直面し、区政の抜本的改革は避けて通れない緊急課題であります。

少子・高齢社会への対応や、増加する犯罪への防犯対策など区民生活に直結した多くの難問を解決する前提条件が改革であり、財源

が豊かなころの自治体経営の手法では、財政破綻をただ待つばかりであります。

行政は、このことを肝に銘じ、自ら血と汗を流し、前例踏襲的な体質から脱皮し改革すべきは改革を行い、時代に適応した体制へと大きく変貌を遂げることが求められております。

時機を逸することなく改革を推し進めなければ、次世代に大きな禍根を残すことになり、今、我慢できることは我慢し、真に必要な施策に重点的に皆様の貴重な税金を投入すべきであります。

そこで私たちは、区の施策を「行政でなければできないこと」に絞り込み「民間でできること」は民間に任せ、肥大化した行政組織の徹底したスリム化を図り、簡素で効率的な組織に再構築するとともに、区民の生命と財産を守る行政本来の使命を果たすために施策の優先順位を明確にするよう求めてきました。

これらの取り組みが大幅な経費削減を可能にし、この財源を将来をも見据えた真に必要な施策に振り分けることが、無駄のない行政運営の実現につながるものと確信し、全力で取り組んでおります。

その結果、区では、昨年7月熊本新区長の下で、それまで内部職員のみで行っていた施策の見直しを、区民委員など民間の方で構成する政策評価委員会を設け、区民の目線で、また納税者の立場での点検作業を精力的に進めております。

区民の方々の感覚、発想に大いに期待するとともに、これを契機に区政の改革がよりスピードを増し、将来を展望できる改革へと展開するよう一層強く求めてまいります。

また、学校給食などの民間委託などの効果で、ここ3年程度で500名を超える職員削減が行われました。私たちが提言している10年で100名の削減にはさらなる努力が必要で、引き続き目標達成に努力してまいります。

私たち自由民主党世田谷区議団



おおば やすのぶ 大場 康宣 上馬 2-1-7 ☎ 5486-6800



いそ はた こうじ 五十畑 孝司 経堂 1-11-4 五十畑ビル 501 ☎ 3429-0238



いし づか いっしん 石 塚 一信 赤堤 5-30-12 ☎ 3322-4472



あか ざわ まさひこ 赤 沢 雅彦 砧 3-17-6-204 ☎ 5727-3341



しもやま よしお 下山 芳男 上馬 4-2-5 ☎ 3418-2869



いし のりお 宍 戸 教男 松原 3-29-18 ☎ 3323-7223



こ はた としお 小 畑 敏雄 成城 4-19-7 ☎ 3484-8848



かかわみ かずひこ 川 上 和彦 北馬山 6-18-17-303 ☎ 5384-5182



にいた かつみ 新田 勝己 等々力 5-25-16-202 ☎ 5706-8487



すずき しゅうじ 鈴木 昌二 瀬田 4-7-11-606 ☎ 3709-3422



すがぬま つとむ 菅沼 つとむ 桜新町 1-14-18 ☎ 3428-2161



しんかわ かつじ 新 川 勝二 上馬 5-19-16-301 ☎ 3429-5650



やまの うちあきら 山内 彰 池尻 4-29-18 ☎ 3411-1488



ひらやま はちろう 平 山 八郎 祖師谷 5-3-2 ☎ 3482-5700



はらだ まさひろ 原 田 正幸 奥沢 3-12-7 ☎ 3720-2576



はたけ やま しんいち 畠 山 晋一 大原 1-16-3 ☎ 3466-7005



たけむら つねあき 竹村 津絵 中町 4-1-8 ☎ 3703-0451



いし じゅんこ 井 純子 上祖師谷 5-20-5 ☎ 3326-9665



やまき きょうこ 山木 京子 下馬 1-29-6 ☎ 5712-3245



にし みつ 崎 光 子 砧 6-20-18-214 ☎ 3749-0377



よしだ けいこ 吉田 恵子 駒沢 2-18-4-201 ☎ 5430-9699

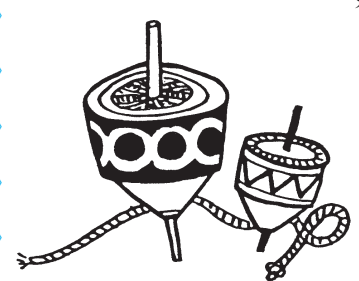


おほつか ただし 下 条 忠 千歳台 2-14-15 ☎ 3482-0033

生活者ネットワーク 世田谷区議団

新年明けましておめでとうございませう。昨年の区議会議員選挙で皆様のお力添えをいただき、生活者ネットワークは、5人の議席を得ることができました。これから生活者の立場、女性の視点で少子高齢化の時代の課題である「子育て」や「介護」の支援策について積極的に政策提案し、社会全体の仕組みづくりを目指します。

近年幼い子どもたちが犯罪に巻き込まれるケースが増えてきています。犯罪から幼い子どもたちを守るために、「家庭」「学校」「地域」の力を合わせて子どもたちの環境を整備を進めていくことが大切ですが、なかなか社会の表面に出てこない子どもへの虐待、家庭内暴力、高齢者の虐待などについても深刻な社



は、安心して安全に暮らせる世田谷、次世代に胸を張って引き継げるまちづくりの実現を目指し、全力を挙げて真剣に取り組んでまいります。

日本共産党 世田谷区議団

明けましておめでとうございませう。日本共産党は平和憲法を守り消費増税に反対します。大企業やアメリカの政治に切り替えます。昨年は区政でも、中学校の教室



しづか たけむら 志 武 201 喜多見 4-28-19 喜多見ビル ☎ 3415-6244



かしばり ゆみ 吉 里 3-26-16 粕谷 ☎ 3309-3792



なかみつ 中里 光夫 代田 5-3-13 泰明荘 ☎ 3795-7091

社会民主党 世田谷区議団

新たな決意で新年を迎えました。依然厳しい経済社会情勢の下で地域経済活性化と雇用創出が区の施策として求められています。働き盛りの方々がリストラ、倒産、失業で苦しむことなく生きがいを持って働きつづけられる活力ある社会、青年が希望を持てる社会、不安のない地域福祉社会を築くため奮闘します。



いぬい けいすけ 井 征夫 桜堂 4-34-16-325 ☎ 3426-7291



いぬい けいすけ 井 征夫 桜堂 4-34-16-325 ☎ 3426-7291



いぬい けいすけ 井 征夫 桜堂 4-34-16-325 ☎ 3426-7291

反政党・改革派

年頭劇辛苦言 議員には歴史観、大局観、時代認識など識見が必要だ。役人が振り付けた陳腐な原稿の棒読みを終始し、全員異議なしで改革ができるのか。役人化した若い議員の猛省と猛勉強を望む。



おほつか ただし 下 条 忠 千歳台 2-14-15 ☎ 3482-0033

新年あけましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、真心からのご支援・ご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

我が国の経済は一部明るい兆しも見えますが、依然としてデフレを克服できず景気低迷が続いております。また、社会や経済などあらゆる分野で既成概念が崩壊し、行き場のない閉塞感・将来不安も蔓延しております。

こうした厳しい状況下こそ、時代に即した行財政改革が求められます。その第一は事務事業の効率化であり、第二は業務の民間委託や民営化であります。第三は外郭団体や補助金の見直しであります。一方徹底した改革なくして、弱者への安易な削減は許されません。子育てを応援し、高齢者や障害者に優しさを与える「世田谷型セー

フティネット」の構築が今こそ必要であります。

さて、公明党が連立政権に参加して4年。この間、食の憲法といわれる「食品安全基本法」の制定をはじめ「児童虐待防止法」「交通バリアフリー法」「ストーカー規制法」など生活者の視点から、数々の法整備をしてきました。

まじめに働く人が報われるよう、地域の声を政治に届けてきた結果であります。

区政においては、以下の諸課題に全力で挑戦いたします。

- 高齢者が安心して出かけられる街づくり（ベンチャートイレの整備）
- ハローワークの区内誘致などで雇用の確保（青年や高齢者の支援）
- 介護保険の基盤整備（ショートステイやグループホームの拡充）
- 公教育の充実（子ども部の設置、幼児教育の拡充、外部評価の導入）
- 自転車利用の促進（小学校で自転車免許の導入、自転車道の整備）
- 水と緑の確保（国分寺崖線の保全、家庭版ISOの普及）



民主党

○創業支援（ベンチャー企業育成）
○安心、安全の街づくり（街のバリアフリー化、防犯対策の推進）
公明党世田谷区議団は、「進んで退かず、達してとどまらず」との気概で取り組んで参ります。

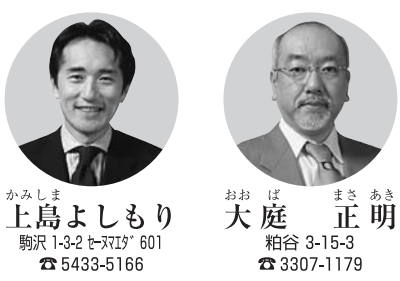
謹賀新年 昨年は4月の区議選、また11月には衆議院選挙にて5区6区ともに民主党に多大なるご支援・ご声援を賜りましたことを心より感謝と御礼申し上げます。

一年を振り返りますと、イラク問題、年金をはじめ少子高齢化問題、重軽犯罪・子どもを取り巻く犯罪の急増など、解決しなければならぬ課題の多い年となりました。一方、スポーツ・芸術分野における日本人の活躍からも、世界の中での日本をかいま見ることができました。

新たな年を迎え、私たち民主党は区民の皆様の切実なる思いを真摯に受け止め、安心できる社会、

せたがや政策会議

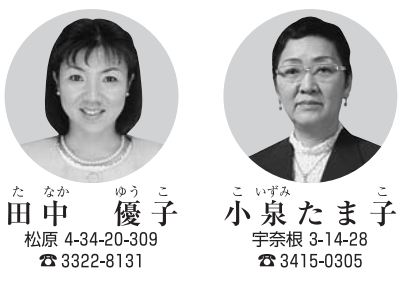
謹賀新年 「せたがや政策会議」は、昨春の改選後、上島よしもり（自由党世田谷）、田中優子（世田谷市民クラブ）、大庭正明（行革10番）、小泉たま子（新風21）の4人で新たに結成した会派で、現在、全員が無所属です。世田谷区議会の中で会派として唯一、団体、組



上島よしもり 駒沢 1-3-2 電話 5433-5166

大庭正明 粕谷 3-15-3 電話 3307-1179

織に属さず、慣例にとられない自由な立場で政策提言ができる会派として頑張っております。すでに、23区で初めて我が会派が提言した「名誉昇給制度」の見直し・廃止が、世田谷だけでなく東京都全体に広がりました。国と自治体の関係が大きく変わる今こそ、一人会派時代の専門性を生かし、より広く総合的に区民の皆様のご意見を区政に反映させて参ります。ご期待ください。



田中優子 松原 4-34-20-309 電話 3322-8131

小泉たま子 宇奈根 3-14-28 電話 3415-0305

無党派市民

迎春 新宿・成城の複々線地下化実現！小田急違法高架は緑の回廊に。道路・高層開発反対。生態系回復都市を。路地の街下北沢を守れ。資源循環逆行のガス化溶融炉反対。公立園生かし質の幼児教育。



木下泰之 代田 4-24-15-102 電話 5355-1283

レインボー世田谷

迎春 停滞した社会の空気のなか、今こそ区政には先例にとられぬしなやかな発想と実行力が必要です。だれもが人生の主人公として、喜びをもって暮らせる社会づくりへ、皆さんの声を紡いで参ります。



川あや 宮坂 2-8-2 電話 3439-3384

無所属

賀春 今年もこの世田谷で住み暮らすすばらしさを皆様と共に確認してまいります。未来をひらく青少年を地域の皆で育て、さらに明るく楽しい豊かな高齢社会を作り上げてまいります。



青空こうじ 大原 1-13-7 電話 3485-2726



稲垣まさよし 玉川台 2-11-13-405 電話 5758-7400

あべ力也 岡本 3-18-22-103 電話 5491-8218

関口太一 等々力 6-6-1-303 電話 5706-1664

すがややすこ 上祖師谷 2-33-7-106 電話 3305-5271

山口拓 太子堂 3-18-3 電話 3487-5522

永早苗 世田谷 3-16-16 電話 3429-4455



代表質問

自由民主党世田谷区議団
石塚 一信議員

これからの行政の役割

質問 区の施策の中には、かつて地域社会が相互扶助の精神で解決していたものも多い。地域が果たしてきた役割を再認識し、行政が担うべき役割への見解を示せ。

区長 基本計画審議会の答申なども踏まえ、相互の役割を整理する。政策評価委員会の中間報告の活用

質問 政策評価委員会は、中間報告で事業経費の積算根拠や受益者負担のあり方の問題などを指摘した。区長はこの提言を踏まえ、区政の流れをどのように変えるのか。

区長 事業の見直しを進め、区民の目線に立った区政運営を行う。

質問 厳しい財政状況の下、時代の要請に応えるには小さな政府の実現が不可欠だ。区長の強いリーダーシップにより財源を適切に配分し、効果的な予算を編成せよ。

区長 事務事業の見直しを着実に進め優先度の高い施策を見極める。重点施策の推進に向けた組織体制

質問 区長は経営方針で、道路整備や子ども施策の推進などの重点課題を挙げている。迅速な解決を図るため、課題に集中的に対応できる柔軟な組織体制を工夫せよ。

助役 効率的で機動力のある執行体制の強化を図りたい。

出張所のあり方を見直し

質問 電子政府の進展など社会状況の変化に対応し、出張所のあり方を見直すべきだ。窓口事務の電子化などで事務コストを削減し、

効率的な組織体制に改革せよ。

助役 新しい窓口体制と区民活動支援の充実を目標に検討を進める。

国分寺崖線保全の取り組み強化

質問 国分寺崖線と多摩川に囲まれた地域は自然や歴史的、文化的資産が豊富だ。地域全体を国分寺崖線の保全構想に組み入れ、環境共生都市の構築を目指せ。

都市整備部長 地域の将来像を示し、保全方針を明らかにしていく。

公共施設のあり方を見直し

質問 区施設の老朽化が進んでおり、今後、毎年150億円の改築経費が必要との試算もある。必要な改築を進めるため、維持コストの削減を含め施設のあり方を検討せよ。

政策経営部長 配置基準を見直し、統合や廃止で施設の削減を図る。

11月26日及び27日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

保健所長 結果を蓄積し、健康施策に活用する仕組みを検討する。

世田谷版教育改革への取り組み

質問 学力低下への不安が高まる中、明日を担う子どもに確かな学力を身に付けさせることが重要だ。学校教育のあり方を改めて議論し、世田谷版教育改革を断行せよ。

教育長 教育ビジョンを早急に示し区民の理解と協力を得て進める。

公明党世田谷区議団 増田 信之議員



予算編成における区長の基本姿勢

質問 区財政は厳しいが、心の潤いなど数字では量れない効果を生む事業を安易に廃止してはならない。区民福祉を後退させることなく無駄な支出の削減を徹底せよ。

区長 区民の生命と財産を守り、安全安心のまちを目指す。

職員の特異給制度の見直し

質問 23区共通の制度により、毎年一定の枠内の職員が特別昇給を受けている。本来の趣旨である成績に基づく制度への改善に努めよ。

区長 厳格な運用を目指し区長会などで更に強く改善を働きかける。

若者向けの雇用創出施策の充実

質問 新卒者の就職内定率は一段と悪化しており、若者を対象とした雇用対策が急務だ。ハローワークの誘致などに一層力を注げ。

産業振興部長 誘致交渉や就職活動の実態調査などに取り組む。

シルバー人材センターの活性化

質問 シルバー人材センターの受注が減少し、十分な仕事の紹介ができない状況だ。営業活動を強化

し就業機会を増やすよう指導せよ。

産業振興部長 IT関連など新たな事業分野を開拓し活性化を図る。

バリアフリーのまちづくりの推進

質問 歩道の段差や歩道橋など高齢者や障害者の自由な移動を妨げる多くのバリアがある。まちのパリアフリー化に一層取り組み。

区長 福祉や環境などにも配慮しながら道路整備の促進を図る。

民主党
あべ 力也議員

職員定数の一層の削減

質問 区財政は依然厳しく、行政運営の更なる見直しを迫られている。民間委託などにより職員を一層削減すべきだ。区が適正と考えられる職員数を具体的に示せ。

総務部長 民間と行政の役割分担を精査する中で検討していきたい。

新たな予算編成手法の採用

質問 限られた財源で最大の成果を上げるには予算編成上の工夫も必要だ。政策課題ごとに予算を配分し関連部署に権限と責任を持たせるなど、新たな手法を採用せよ。

政策経営部長 当区にとって有効な方策を引き続き検討する。

少人数学級の実現

質問 国の学級編成基準の運用が緩和される。すべての子どもに行き届いた教育が行えるよう、30人以下の少人数学級を実現せよ。

教育次長 教員の配置基準の弾力的な運用を都に求める。

介護サービスの第三者評価の実施

質問 介護サービスの質の向上には事業者間の競争が欠かせない。利用者がより良いサービスを提供する事業者を選べるよう、区独自の第三者評価制度を作れ。

保健福祉部長 15年度中に試行し本格的な仕組みづくりにつなげる。

成年後見制度の普及促進

質問 痴呆性高齢者や知的障害者などの権利を守るため、成年後見制度が設けられたが十分に利用されていない。ヘルパーや民生委員などへの周知にも一層力を注げ。

在宅サービス部長 様々な機会をとらえ周知を図っていく。

就業相談体制の拡充

質問 厳しい雇用情勢が続く中、職業安定法が改正され自治体自ら職業紹介を行えるようになった。区も就業相談事業を拡充せよ。

産業振興部長 求職者の多様なニーズに応えるべく体制を充実する。

生活者ネットワーク世田谷区議団
西崎 光子議員

福祉重視のまちづくりの推進

質問 少子高齢社会の著しい進行による区民の不安を解消するため、世田谷の福祉の将来像を明らかにすべきだ。次期基本計画では、福祉重視のまちづくりを目標とせよ。

区長 子育て環境の整備や高齢者の生きがい対策などに力を注ぐ。

補助金制度の見直し

質問 区民の理解が得られる区政運営が求められている。補助金制度の見直しは、検討内容などを区民に分かりやすく公表して進めよ。

政策経営部長 取り組み内容の公表に一層努めていく。

区立校の信頼回復

質問 区立小の教員による不祥事件があった。再発防止に区が主体的に取り組めるよう、教員の人事権を都から区へ委譲させ区立校の信頼回復に全力を挙げよ。

教育長 学校教育の危機と認識し、信頼される公教育の推進に努める。

支援費制度の財源確保

質問 障がい者の支援費制度では、ホームヘルプの利用が急増し、国の補助金が不足する懸念がある。必要なサービスが十分受けられるよう財源の確保に万全を期せよ。

在宅サービス部長 実績に合った補助を行うよう国に働きかけていく。

移送サービスと公共交通の連携

質問 高齢者や障がい者が利用しやすい交通基盤の整備に力を注ぐべきだ。NPOなどによる移送サービスと既存の交通機関との連携が進むよう交通政策を展開せよ。

都市整備部長 関係部署が連携し基盤づくりに取り組んでいく。

DV防止への取り組みの強化

質問 深刻化する配偶者などによる暴力への対策を強化すべきだ。被害者の受け皿となっている民間の一時保護施設を支援せよ。

生活文化部長 十分な財政支援を行うよう国に要望している。

せたがや政策会議
小泉 たま子議員

日本共産党世田谷区議団
岸 武志議員

地区の組織を作り直せ

質問 区民が身近な地区で共に支え合い、豊かに暮らせるよう、地区の拠点の出張所を作り直すべきだ。すぐやる課の機能も併せ持つことを考えよ。

区長 すべての職場にすぐやる課の理念が浸透するよう努めていく。地区の行政拠点の見直し

質問 地区の行政サービス拠点が散在し、区民が利用しづらい。施設機能を統合し、出張所に在宅介護支援センターを併設するなど、サービス拠点を集約せよ。

助役 政策経営部長 公共施設整備方針を策定する中で検討したい。区内転入者への十分な配慮

質問 転入した区民が新しい生活になじめるような配慮が必要だ。転入手続き時に地区のルールや支えあい活動などの情報を地区できめ細かく提供する体制を作れ。

世田谷支所長 出張所の見直しの中で検討していく。

地区への重点的な人材の投入

質問 出張所は最前線の現場として区民と接する重要な職場だ。見直し後は管理職を配置し、地区サービス提供に責任を持って当たれ。

世田谷支所長 地区の拠点としての機能を発揮できるよう努める。イベントを活用した地域の活性化

質問 イベントには、地域のつながりを深める大切な役割もある。見直しに当たっては、目的と効果を見極める確かな対応をせよ。

政策経営部長 地域の取り組みが生かされるよう工夫していく。教育を重視した子ども施策の展開

質問 教育は子ども施策の基礎を成す。子ども施策の専門組織を検討中だが、福祉サービスの観点に加え、教育と家庭での教育力の向上を担当する組織とせよ。

イラクへの自衛隊派遣反対

質問 イラク問題は平和的な解決を目指すべきだ。平和都市宣言を行った区として、国が行おうとしている自衛隊派遣には反対せよ。

区長 一日も早く平和な社会が実現するよう願っている。

補助金制度見直しへの慎重な対応

質問 区は行革の一環としてすべての補助金を見直しているが、現行のサービス水準は維持すべきだ。保育事業など区民生活に密着した事業への補助金は廃止するな。

政策経営部長 公益性や社会経済情勢などを考慮し見直しを進める。二子玉川再開発の見直し

質問 政策評価委員会は予算規模の大きい事業の点検を優先するとしている。今後10年間で700億円もの税金が投入される予定の二子玉川再開発こそ最優先で見直せ。

政策経営部長 計画事業の点検手法は今後、委員会で審議される。地区計画の住民提案制度

質問 相次ぐ大規模マンション開発などから住環境を守るには、地区計画による規制が有効だ。地区計画の案を住民が直接提案できるように、街づくり条例を改正せよ。

都市整備部長 当面は既存の提案制度の実効性や課題を検証する。区独自の開発規制

質問 国の規制緩和が、傾斜地の地下室マンション建設など環境の悪化を招いている。開発に際し地域の状況に合わせて規制をかけるよう、独自の条例を定めよ。

都市整備部長 制限強化や緩和の得失を検討し慎重に対応したい。建設計画の周知期間の延長

質問 紛争予防のため、マンションなどの建設計画の周知期間を十分確保すべきだ。条例を改正し、建設計画を記した標識の設置期間を現在の2倍以上に延長せよ。

一般質問

11月27日及び28日の本会議では29名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

大庭 正明議員(政策)

自治体間競争時代の財源確保

質問 これからの自治体は、財源を国に頼らず、市場から資金調達するための公債発行などを積極的に進めるべきだ。国内外の市場で他自治体より高い評価を得るため、健全財政や充実した都市基盤というような、自治体としての商品価値を高め、積極的にPRせよ。

自治体間競争に勝つ戦略の構築

質問 市場から評価され自治体間競争で優位に立つには、役所の発想を超えた経営戦略を構築できる組織が必要だ。株式会社であるサービス公社に区のシンクタンクとしての機能を付加し、専門分野の経験が豊富な外部の人材を登用して自治体経営の戦略の拠点とせよ。

皇山 晋一議員(自民)

ユニバーサルデザインの推進

質問 障害の有無や年齢などにかかわらず、だれもが快適に暮らせる社会の実現を目指すべきだ。ユニバーサルデザインの考えをまちづくりの根幹に据えて取り組め。

川上 和彦議員(自民)

安心して学べる教育環境づくり

質問 区立小教員による児童への暴行未遂事件は許されぬ行為だ。二度と起こらぬよう学校と家庭や地域などの関係を再構築し、安心して学べる教育環境を作れ。

北鳥山の学生寮の緑の保全

質問 北鳥山の民間学生寮の緑を保全すべきだ。都市基盤整備公団が防災公園として整備し区が取得する手法を使えば、国の補助も受けられる。実現に全力を挙げよ。

岩本 澈昌議員(公明)

成年後見人に必要な知識の普及

質問 成年後見制度では親族が後見人になる場合が多いが、法律の専門的な知識が必要だ。制度が適切に利用できるよう研修会などを開催し知識の普及に取り組め。

鈴木 昌一議員(自民)

世田谷産農産物のブランド化

質問 暮らしに潤いをもたらず豊かな農地を守るためにも、農業を魅力ある産業として発展させる必要がある。区内産農産物のブランド化を推進し消費の拡大を図れ。

地域の人材を生かした教育の実践

質問 子どもにとって様々な分野で働く人の話を聞き、仕事を体験してみることは大変有益だ。学校教育の場で、専門知識や技術を持つ地域の人材を積極的に活用せよ。

佐藤 弘人議員(公明)

水のある環境の保全と創出

質問 地域の水辺の整備は景観や自然学習、温暖化の緩和などの多くの観点から有効だ。水路の再生に向け、現況調査など具体的な取り組みを進める組織を設けよ。

色覚バリアフリー化への取り組み

質問 色覚異常のある人へのきめ細かな対応が必要だ。色覚のバリアフリー社会の実現に向け、色覚に配慮した刊行物や案内板を作成するなど対策に力を注げ。

情報バリアフリー化の推進

質問 ITを活用した情報発信が進む中、だれもが効率良く情報を得られるようバリアフリー化を推進すべきだ。情報発信窓口の一本化に向け庁内連携を強化せよ。

色覚バリアフリー化への取り組み

質問 色覚異常のある人へのきめ細かな対応が必要だ。色覚のバリアフリー社会の実現に向け、色覚に配慮した刊行物や案内板を作成するなど対策に力を注げ。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

成年後見制度の利用支援

質問 成年後見制度をだれもが利用しやすいものとするべきだ。身寄りのない区民の申立て費用や後見人の報酬を助成する制度の対象要件を緩和するなど、対策を講じよ。

障害児の放課後対策

質問 障害のある中高生の余暇活動の充実に向け、放課後の居場所づくりが不可欠だ。保護者が運営するNPOによる活動への支援など、取り組みを強化せよ。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

関係部署が連携し色彩を考慮した対応を進める。

一般質問

下山 芳男議員(自 民)

けやきネットの柔軟な運用
質問 学校施設は地域活動の拠点として一層活用すべきだ。けやきネットを柔軟に運用し、総合型地域スポーツクラブなど地域に根差した団体の活動の場を拡大せよ。

回答 改善に努め、地域の利用に最大限配慮していく。

災害への万全な備え
質問 区内には狭い道路が多く、災害発生直後のけやき人や物資の搬送には、リヤカーなどが有効だ。区だけでなく町会などの保有数も把握し確保に努めよ。

回答 状況に応じて有効に活用できるように検討していきたい。

区施設の効率的な運営
質問 現在は多くの区施設の管理を外郭団体などに委託しているが、法改正により民間企業などの参入が可能となった。民間との競争により運営の効率化を進めよ。

回答 区民ニーズに柔軟に対応できる施設運営を図っていく。

竹村 津絵議員(生 新)

地域整備方針への区民提案の反映
質問 まちづくりの基本となる地域整備方針の見直しに区民参加が行われ、中間報告が示された。区民の熱意が込められた提案内容を十分に方針に盛り込めよ。

回答 提案を基本計画などと照らし、見直しに反映させる。

住民主体のまちづくりの支援
質問 マンション建設などの開発は住環境に大きな影響を及ぼす。住民主体でまちづくりのルールを定め規制すべきだ。地区計画や建築協定策定への支援を強化せよ。

回答 まちづくりの様々な相談に応じると共に引き続き支援する。

電磁波問題の啓発
質問 日常生活で電磁波が人体に与える影響を懸念し、厳しく規制する国もある。携帯電話など電磁波を発生する機器の使用の際は留意するよう学校教育で取り上げよ。

回答 電磁波の影響に関する情報を収集し各校への啓発に努める。

吉田 恵子議員(生 新)

まちづくりへの在住外国人の参加
質問 在住外国人が地域の一員として活動できる場の確保が必要だ。参加意欲のある外国人を登録する人材バンクを設けるなど、地域活動への参加を促す仕組みを作れ。

回答 情報提供や地域での国際交流を充実するなど意欲を喚起する。

障がい者の生活環境の整備
質問 障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けられる施策が不可欠だ。親亡き後の地域生活を支える取り組みの強化に向け、グループホームの増設を図れ。

回答 ニーズの把握に努め、民間との連携により整備に取り組みよ。

IT技能での障がい者の就労促進
質問 IT社会は、障がい者からの情報発信や在宅就労を容易にした。障がい者の自立に向け、パソコン技能の習得など、ITを活用した就労を積極的に支援せよ。

回答 NPOなどと連携した就労支援に引き続き取り組む。

赤沢 雅彦議員(自 民)

庁内情報網のセキュリティ強化
質問 個人情報保護のため、庁内情報網のウイルス感染対策を強化すべきだ。専門家によるチェック体制を作り技術的に高度化するセキュリティ対策に万全を期せよ。

回答 外部の専門的な知識や技術を積極的に活用する体制を築く。

投票用紙の正しい書き方の啓発
質問 選挙時には、投票用紙の書き方で無効となる基準や、書き間違いの訂正方法を分かりやすく示すべきだ。貴重な一票が無駄にならないよう周知を徹底せよ。

回答 区報やホームページなどでPRを行っていききたい。

子どもの安全を守る教育の充実
質問 子どもの安全を守る取り組みを強化すべきだ。不審者の学校への侵入対策だけでなく、子どもが自ら誘拐などの危険から身を守る方法を学校で教えよ。

回答 引き続き地域と連携して安全を守る教育を充実していく。

富永 早苗議員(民 主)

DV被害者への支援の強化
質問 配偶者などから暴力を受ける被害が増加し、被害者の生活再建を支える自治体の役割の重要性が増している。被害者の転居を想定し自治体間の連携強化を図れ。

回答 相互協力の合意に向け他の自治体に働きかけていく。

高齢者グループの活動の場の確保
質問 区施設の利用時間の単位は午前、午後、夜間で、1つの会場が1日3団体しか利用できない。元気高齢者の定期的な活動の場の確保に向け利用単位を細分化せよ。

回答 公共施設全体の見直しの中で改善に向けて取り組む。

区立幼稚園の見直し状況の明示
質問 区立幼稚園の見直しでは、未だに内容が明らかにならず、保護者の不安は解消されていない。検討の過程と現状を明示し、期限を明確にして早急に結論を出せ。

回答 できるだけ早く明らかにするよう配慮していく。

山口 拓議員(民 主)

情報化推進の取り組み
質問 ITの積極的な活用は快適な生活を支える新たな社会システムの創造につながる。民間と協働して行った情報ハイウェイ実験の結果を検証し、実用化に取り組みよ。

回答 実験の検証結果を情報政策の推進に生かしていきたい。

IT活用による地域の活性化
質問 地域サークルのホームページ作成を支援するなど、ITを活用したコミュニケーションの活性化を促すべきだ。専門知識を持つNPOなどと協力し支援体制を構築せよ。

回答 有効な支援策を引き続き検討していきたい。

障害者などの表現
質問 障害者、痴呆などの漢字表記は文字の意味から誤解を招きかねず、行政が用いるには不適切だ。行政書式や窓口などの表記は早急に障がい者、ちほうなどに改めよ。

回答 適切な表現について情報収集に努めながら研究したい。

菅沼 つとむ議員(自 民)

統合後の池尻中施設の有効活用
質問 財政状況が厳しい中、賃借料が掛かる借り上げ施設を減らし、いくべきだ。統合後の池尻中の施設を移転先として活用することも考えられるがどうか。

回答 高額な改修経費や立地条件などの課題がある。

リサイクル施設の民間委託化
質問 ごみ減量やリサイクルに対する区民の活動を一層促していくべきだ。リサイクル施設の管理運営を地域の活動団体に委託し、取り組みの気運を高めよ。

回答 施設の民間委託化について、積極的に研究していく。

バス交通網の充実
質問 バス路線の運行経路を工夫し、小幡な変更を行うだけで、交通不便地域の解消が期待できる地域もある。桜新町駅周辺の運行経路の変更を事業者に強く求めよ。

回答 実現に向けて引き続き働きかけていく。

青空 こうじ議員(無所属)

バリアフリーのまちづくり
質問 だれもが安心して暮らせるまちを目指すべきだ。下北沢駅周辺のまちづくりでは、駅施設にとどまらず住居や店舗も含めたまち全体のバリアフリー化を推進せよ。

回答 まちづくりの基本方針の一つとして事業に反映させていく。

公園のバリアフリー化の推進
質問 新しく整備された公園では、車いすやベビーカーにも配慮したバリアフリー化が施されている。未だに段差のある公園にはスロープを設置するなど改修を進めよ。

回答 すべての公園のバリアフリー化に積極的に取り組む。

北沢地域の公園のバリアフリー化
質問 公園は日々の暮らしに安らぎをもたらす。すべての区民が利用できるようなバリアフリー化を着実に進めるべきだが、北沢地域での14年度の取り組み状況を示せ。

回答 車いす対応トイレの設置や出入口の段差解消などを進めた。

桜井 純子議員(生 新)

学校給食でのアレルギーへの対応
質問 食物アレルギーを持つ子どもが増え、学校給食での配慮が不可欠だ。一部の学校で代替食の調理を行っているが、学校間には格差が生じないよう取り組みよ。

回答 食物アレルギーへの標準的な対応基準の作成を検討する。

子どもが相談しやすい環境づくり
質問 区はスクールカウンセラーを全校に配置するが、利用しやすい環境づくりに努めるべきだ。気軽に行ける場所への相談室の配置など、子どもの立場で工夫せよ。

回答 専門家の意見も参考に、適切な設置場所の確保に努める。

スクールカウンセラーとの連携
質問 スクールカウンセラーへの相談が、児童虐待やDVなどの発見につながるケースが想定される。福祉領域などとの連携を強化せよ。

回答 担任はもとより、保護者や関係機関との連携も強化する。

上川 あや議員(虹)

要約筆記の普及
質問 聴覚障害者の多くが手話を使えない現実がある。話の内容を即時に書き起こす要約筆記の普及が情報保障に必要だ。区は民間努力にすべてを負う現状を脱し、専門家の養成などを積極的に進めよ。

回答 障害者のニーズの把握に努め、有効な支援策を検討したい。

区の行事での要約筆記の活用
質問 聴覚障害者に十分な情報提供を保障するため、区の行事に要約筆記を積極的に導入せよ。

回答 必要に応じて奉仕員の導入を進めていきたい。

災害時の医療救護態勢の確立
質問 区は災害時の医療救護に備え、薬剤師会と薬剤師派遣などの協定を結んでいるが、当の薬剤師は医療品備蓄の内容も知らされず、必要な情報を得ていない。実効性ある備えとなるよう万全を期せよ。

回答 定期的に連絡会を開催するなど積極的に情報提供に努める。

木下 泰之議員(無党派)

下北沢区間在来線跡地の緑道計画、12年度実施の都調査報告書に明記
質問 下北沢小田急連立事業での緑道計画未提示の弁解として、概括的検討で小田急と調整の必要というが、同調査の委託先はどこか。

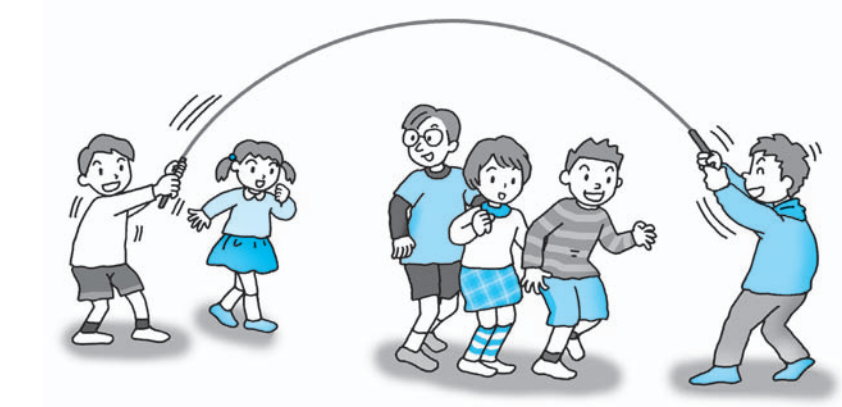
回答 都にごく最近確かめたが、委託先は小田急電鉄と聞いた。

高裁判決への区長の対応を問う
質問 小田急線連立事業の認可取消訴訟の高裁判決が12月に出る。事業認可が再び違法とされた場合、抜本的公共事業見直しの先駆けとなる。区民の声を踏まえ対応せよ。

回答 区は訴訟当事者ではないため、判決を待つ適切な対応する。

幼児教育に対する区長見解を問う
質問 区立幼稚園廃止検討を区長は口にしたが、人格形成において幼児教育の役割は重要だ。区が教員人事権を唯一有し、主体的教育が展開できる区立園を廃止するな。

回答 すべての子どもが健やかに育つことができる環境を目指す。



一般質問

5ページの続き

新田 勝己議員(自 民)

分かりやすい政策目標の明示

質問 安全で安心なまちの実現など、区長が目指す区の将来像は示されたが抽象的だ。進捗状況や達成度が区民に分かりやすくなるよう数値目標を掲げ実現に取り組み

答弁 基本計画や実施計画の策定の中で具体的に設定する。

スクールカウンセラー事業

質問 スクールカウンセラーは子どもの相談に応じることで、いじめなどの早期発見や解決に重要な役割を果たしている。全校に配置されるが取り組みへの評価を示せ

答弁 専門的な立場から支援を行っており成果を上げている。

教員のカウンセリング能力の向上

質問 教員が子どもの悩みや相談に応じることは子どもとの信頼関係を築く上で重要だ。研修や教員を対象とする相談窓口を充実し、カウンセリング能力の向上を図れ

答弁 カウンセリング技法の習得機会の充実などに努める。

羽田 圭二議員(社 民)

今後の住民サービスのあり方

質問 政策評価委員会の中間報告を基に、事業を効率化の視点から見直そうとしている。拙速に進めることなく、地域保健福祉の充実を基本とした施策展開に努めよ

答弁 各事業の果たしてきた役割や関係者の意見も踏まえ検討する。

等々力溪谷周辺の湧水の保全

質問 等々力溪谷周辺の湧水の保全が重要だが、等々力駅の改良工事による影響が懸念されている。住民の不安解消に向け、十分な説明を行うよう事業者に求めよ

答弁 情報の開示と説明会の早期開催を働きかけている。

高齢者の健康づくりの場の確保

質問 高齢者の健康保持には健康体操などの定期的な運動が有効だ。地域での自主的なスポーツ活動の場が継続的に確保できるように、区施設の利用の仕組みを改善せよ

答弁 利用調整が区民活動団体間で自主的に行われるよう支援する。

下条 忠雄議員(反政 党)

政策評価委員会の中間報告

質問 政策評価委員会の中間報告は納税者の立場からの全額事業の総点検という画期的なものだ。早くも公明、共産、社民から牽制があるが、区長に実行の決意を問う

答弁 報告を真摯に受け止め、庁内外の声も聞いて改革を断行する。大場お祭り区政に訣別を

政策評価委員会

質問 政策評価委員会はイベントの思い切った見直しを求めているが、税金で祭りをする時代ではない。多額の予算や人件費が掛かる花火大会や区民まつりは廃止せよ

答弁 区との関与の仕方を改めて検討し、見直しを進める。

万難を排して補助金改革をせよ

質問 100を越える個人や団体へ170億円支給されている補助金も見直しの対象だ。既得権化し切れない部分もあるし、政党や族議員など抵抗勢力がある。改革できるのか

答弁 政策評価委員会の提言も踏まえ、行政運営の透明性を高める。

平山 八郎議員(自 民)

コスト意識の徹底

質問 貴重な区民の税金を無駄にすることのないよう、常にコスト意識を持つことが重要だ。契約の更新では、単価などを市況と比較し不断に見直す必要がある。借り上げている庁舎や区民向け住宅などの施設の賃借料も、下落している相場を踏まえ是正せよ

答弁 市場の動向や経済情勢を見極め、適正な賃料を設定するよう引き続き努力していく。

商店街の振興策

質問 商店街は環境整備やイベントを通じ、コミュニティの活性化に大きく寄与している。しかし、大手資本の店舗の中には商店街に加入せず、地域の活動に協力しない店もある。改正される産業振興条例を生かし、協力を促していく取り組みを強化せよ

答弁 商店街と連携し新規出店への対応を進めると共に、商店街組織の充実と活性化に努める。

関口 太一議員(民 主)

情報資産の管理体制の構築

質問 区が庁内のパソコン総台数を把握していないのは問題だ。これでは区民が安心して、情報を区に預けることができない。早急に一元管理できる体制を構築せよ

答弁 15年度中にセキュリティの集中管理システムを導入したい。小学校の情報教育の充実

小学校の情報教育の充実

質問 小学校のパソコンルームが二人に一台の現状は問題だ。次代を担う子どもへの情報教育を充実させるためにも、早急に一人一台体制を構築せよ

答弁 厳しい財政状況だが、早期実現に向け計画的に取り組み。区による違法駐車取締りの実現

徹底した行革により生じた余力で、区が違法駐車取締りの実現

質問 徹底した行革により生じた余力で、区が違法駐車取締りを担えば、警察は増加する犯罪の捜査に一層集中できる。国の構造改革特区制度を活用し実現を目指せ

答弁 国の動向を踏まえ、課題などを研究していきたい。

稲垣 まさよし議員(民 主)

難病患者への支援強化

質問 在宅における筋萎縮性側索硬化症などの難病に対応できるサービス量を確保すべきだ。事業者に対応実績などの情報開示を求め、サービス提供体制の充実を図れ

答弁 患者や家族の参考となる事業者情報の充実を検討していく。

学校給食でのアレルギー対策

質問 学校給食では食物アレルギーのある子どもへの配慮が求められる。柔軟な対応が可能な調理業務の民間委託を着実に進め、個別調理の実施校の拡大に力を注げ

答弁 調理体制の整備に努め、取り組みを強化していく。

発達障害を抱える子どもへの支援

質問 発達障害などを抱える子どもを地域で支える仕組みづくりが必要だ。活動の中心となるNPOへの支援や児童心理を学ぶ学生との連携などに積極的に取り組み

答弁 地域のネットワークづくりの方策を検討していく。

桜井 征夫議員(社 民)

介護保険と支援費制度の統合問題

質問 国は介護保険制度と障害者の支援費制度の統合を検討中だが、財政支出の削減に偏った議論が先行することには疑問がある。障害者には自立を支援し社会参加を促すサービスが必要であり、制度の目的が異なる。福祉水準を後退させない制度への改善を求めよ

答弁 国の動向を注視すると共に、区民福祉の向上に責任を持つ区としての考えを主張していく。

国保財政の抜本的な改善

質問 国保財政は高齢社会の急激な進行や収納率の低下などの要因から保険料収入が減少し、厳しい運営を強いられている。財源不足を補うための一般会計からの繰り入れも増加傾向だ。国の補助割合の引上げを要請するなど、安定的な財政運営に力を注げ

答弁 滞納の早期解消と発生防止に向け、収納率の向上のための取り組みを強化する。

諸星 養一議員(公 明)

地域行政制度における支所の役割

質問 地域行政制度の発展に向けて要である支所のあり方を見直すべきだ。地域特性を生かした主体的な施策を展開できるように、支所長の権限の強化などに取り組み

答弁 基本計画審議会での議論を通じて具体的な見直しを進めたい。

駒沢3丁目の浸水対策

質問 集中豪雨による浸水被害は特定の場所が発生しており、重点的に対策を進めるべきだ。土地が低く発生頻度の高い駒沢3丁目地区に早急に予防策を講じよ

答弁 早期改善に向け、都と連携して取り組んでいく。

フットサル場の拡充

質問 フットサルは愛好者が急増しているスポーツだが、利用可能な施設が少ない。フットサルができるよう、学校の体育館や校庭を整備し開放を進めよ

答弁 学校改革に併せ対応可能な体育館への改修などに努めたい。

上島 よしもり議員(政 策)

情報システムの再構築

質問 現行の区の情報システムは高コストで非効率な仕組みであり、年間経費も50億円近くになっている。情報化に伴い今後更に経費の膨張が予想される中、無駄のない新たな手法の採用を検討せよ

答弁 費用対効果や技術的問題などの課題を研究したい。

情報システム全体の総合的見直し

質問 基本計画策定やメインコンピューターのリース期限が近づく中で、今こそ情報管理運営体制そのものを政策的に見直せ

答弁 開発手法や維持管理のあり方などを多角的に検討したい。

社会変化に対応した住宅政策

質問 収入超過など入居資格を失っても公営住宅に住み続ける例がある一方、区を支えてきた中小事業主が不況で住居を失い困窮する例もある。住宅政策を再検討せよ

答弁 社会状況を反映した住宅政策の展開に努める。

高橋 昭彦議員(公 明)

歩道上の障害物の撤去

質問 高齢者などが安全に外出できるように歩道の障害物の除去に努めるべきだ。車いすなどの通行を妨げる放置バイクは自動二輪車も含め、撤去できる方策を講じよ

答弁 他自治体の例も参考に、警察と連携して対策を進める。

創業支援の充実

質問 区内産業の振興には新たな事業者の育成が必要だ。区が実施している創業支援塾の受講者を創業まで継続して支援するシステムを構築し、区内での創業を促せ

答弁 空き店舗の紹介など新たな方策を検討していきたい。

大型スクリーンによる情報提供

質問 災害時の情報網の寸断に備えた対策の強化が欠かせない。安否情報の表示や日常の広報活動に利用できる大型スクリーンを、キヤロットタワーの壁面に設置せよ

答弁 費用負担も大きいことから今後の研究課題としたい。

山内 彰議員(自 民)

自転車事故防止への取り組み

質問 自転車の交通事故増加への対策が急務だ。小学生だけでなく、中学生や高齢者も対象とした自転車運転免許証の発行や無謀運転を防ぐ条例の制定などに取り組み

答弁 啓発活動を継続し、免許証の対象拡大や条例制定も検討する。

区立公園の安全管理の徹底

質問 公園で子どもが安心して遊べるよう、安全管理を徹底すべきだ。遊具に不具合が生じた場合の利用者への迅速な周知や、砂場の衛生管理などに万全を期せ

答弁 地域の協力も得ながら、安全安心な公園づくりに取り組む。

斜面地での地下室マンション規制

質問 区内には国分寺崖線などの保全すべき緑豊かな斜面地が多い。横浜市などでは斜面地での地下室マンション建設を規制する条例制定の動きがあるが、区も検討せよ

答弁 国分寺崖線を守る条例制定の検討を踏まえ、方針を定めたい。

栗林 のり子議員(公 明)

世田谷教育サミットの開催

質問 教育への信頼が揺らいでいる今こそ、関係者が一堂に会し世田谷の教育が目指すべき方向性を論ずる必要がある。公立、私立などの枠を超えた「共生」を目指せ

答弁 関係機関のネットワークづくりに取り組みたい。

命の大切さを学ぶ機会の拡充

質問 子どもが学校で命の尊さを学ぶことは大切な。命にかかわる獣医師や助産師などの専門家に由来出張授業や、教員向けの動物飼育技術の講習会などを実施せよ

答弁 命を大切に育てる子どもの育成に力を注ぐよう学校を指導する。

区立図書館の情報提供機能の拡充

質問 インターネットの普及などIT化の進展に伴い、区立図書館のあり方を見直すべきだ。ビジネス支援情報などニーズを反映する地域情報館として機能を拡充せよ

答弁 より高度な情報を提供できるようにサービスの向上に努める。



次回の定例会は3月上旬から開催する予定です。

小田急線連立事業による線路の位置変更に伴い、町区域を変更する。

会派等の略称

- 自民＝自由民主党世田谷区議団
- 公明＝公明党世田谷区議団
- 民主＝民主党
- 生ネ＝生活者ネットワーク世田谷区議団
- 政策＝せたがや政策会議
- 共産＝日本共産党世田谷区議団
- 社民＝社会民主党世田谷区議団
- 反政＝反政・改革派
- 無党＝無党派市民
- 虹＝レインボー世田谷無所属
- 無所＝無所属

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

- ◆採択したもの 3件 (全員賛成)
 - 奥沢地区に自転車置き場の確保を求める請願
 - 都市計画税の軽減措置の継続につき意見書の提出を求める請願
 - 小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置の継続につき意見書の提出を求める請願

- 閉会中に開催された委員会
- 11月 4日(火) 福祉、都市
 - 6日(木) 議運
 - 12日(水) 企画、区民(視察含む)、文教
 - 13日(木) 福祉、都市
 - 14日(金) 分権、オウム(視察含む)、清掃、交通
 - 18日(火) 議運
 - 20日(木) 福祉
 - 25日(火) 企画

- 会期中の主な会議日程
- 11月26日(水) 議運、本会議(代表質問)
 - 27日(木) 本会議(代表質問、一般質問)
 - 28日(金) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託)
 - 12月 1日(月) 企画、区民、文教
 - 2日(火) 福祉、都市
 - 3日(水) 分権、オウム、清掃、交通
 - 5日(金) 議運、本会議(議案の議決、請願の付託)

- 委員会名称
- 議運＝議会運営委員会
 - 区民＝区民生活委員会
 - 都市＝都市整備委員会
 - 分権＝地方分権・庁舎問題等対策委員会
 - オウム＝オウム問題・防犯対策委員会
 - 清掃＝清掃・リサイクル対策委員会
 - 交通＝公共交通機関対策等委員会
 - 企画＝企画総務委員会
 - 福祉＝福祉保健委員会
 - 文教＝文教委員会

- ◆不採択となったもの 3件
 - 東京電力変電所ならびに隣接するマンション計画に関する請願
 - 賛成多数 賛成＝自民、公明、民主、生ネ、政策
 - 反対 反対＝共産、無党派
 - (仮称)野沢共同住宅建設工事に関する陳情
 - 賛成多数 賛成＝自民、公明、民主、生ネ、政策
 - 反対 反対＝共産、無党派
 - 世田谷区建築行政の改善を求める陳情(全員賛成)
- ◆企画総務委員会で審査するもの 2件
 - 臨時職員などの公正な賃金等の確保に関する陳情
 - 「パート・派遣労働者などの適正な労働条件の整備及び均等待遇を求める」政府・関係省庁への意見書等採択に関する陳情
- ◆福祉保健委員会で審査するもの 2件
 - 福祉施策にかかわる陳情
 - 高次脳機能障害者のための施策や施設の設定を求める陳情
- ◆都市整備委員会で審査するもの 2件
 - 中高層建築物に関わる認可手続きのあり方と条例遵守強化に関する請願

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

- ◆文教委員会で審査するもの 1件
 - 世田谷区のすべての小学校1、2年生を30人以下で学べるようにするための請願
- 等々力駅地下化工事の着工前に自然環境を考慮した調査・観測を求める陳情
- 東京都食品安全基本条例(仮称)に関する要望書

BSE(牛海綿状脳症)や食品の偽装表示問題など、食品に関する事故事件は、区民にかつてないほど不安を募らせています。このような状況の中で、国は食品安全基本法を制定するとともに、食品衛生法を改正し、食の安全確保を図っていますが、新聞やテレビなどの報道機関からは連日のように食用肉の原産地や魚介類の種類などを偽った食品の販売などが指摘され、また、新たなBSE感染も再び発生するなど、区民の不安が払拭されるような状況には至っていません。

今回、東京都では食品安全基本条例(仮称)の策定に向け、都民の意見を募集し、検討を進めていますが、食の安全確保は、80万区民・消費者を擁する当区のため願ってもあり、是非、実効性ある条例を望むものであります。

よって、世田谷区議会は、貴職に対し、条例策定及び食品行政の推進に当たり、下記の項目に十分配慮されるよう強く要望いたします。

- 食の安全性の確保は、消費者である都民の生命と健康を侵さない権利を守るためであることを明確にすること。
- 食の安全確保に対する国の対応と、国の制度を補完し、自治体としての取り組みをはじめようとする今回の都の条例制定により、消費者、事業者が混乱をきたすことなく、適切に対応できる体制を整備するとともに、十分な啓発活動を行うこと。
- 遺伝子組み替え作物については、検査体制を一層強化し、消費者、事業者及び区への情報提供に努めること。
- 子どものアレルギー対策に向けては、化学物質の蓄積性に考慮し、子どもの基準を設けて対応すること。
- 危害発生の未然防止措置の確立では、消費者と事業者に対し透明性を確保し、また、区との連携強化を図ること。
- 安全な食品の製造と流通を確保するため、トレーサビリティの確立に向けた都市農家と流通業者の指導、支援に努めるとともに、国への働きかけを強化すること。
- 区の「監視指導計画」の策定及びその実施にあたっては、各区の地域特性を尊重するとともに、迅速、的確な情報の提供など、十分な支援に努めること。

平成15年11月20日
東京都知事あて

固定資産税・都市計画税の減免措置等の継続を求める要望書

我が国の経済情勢は、一部、企業の業況感などに改善の兆しが見られ、景気の持ち直しに向けた動きも期待されておりますが、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費も低迷しているなど、未だ区民生活や中小零細企業経営において深刻な状況が続いております。こうした中、東京都は、小規模住宅用地にかかる都市計画税の軽減措置を昭和63年度より実施し、制度としては定着したものととなっております。現下の経済情勢の中で、この措置が廃止されるとすれば、区民生活を一層圧迫し、個人消費のさらなる減少など、地域経済への悪影響も懸念されます。

また、昨年度から実施された小規模非住宅用地の固定資産税・都市計画税の減免措置は、とりわけ中小零細企業にとって事業の継続や事業内容の健全化に大きな力となりました。この減免措置の適用が平成15年度限りで廃止となれば、数多くの事業者の経営環境や意欲に深刻な影響を与え、さらなる雇用情勢の悪化や地域産業活動の低迷につながることも予測されます。

よって、世田谷区議会は、地域の活力を高める立場から、貴職に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

- 小規模住宅用地にかかわる都市計画税の軽減措置を引き続き平成16年度以降も実施すること。
- 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の減免措置を引き続き平成16年度以降も実施すること。

平成15年11月25日
東京都知事あて

○今定例会では、35名の議員が、清掃・リサイクルの問題や教育改革への取り組みなど、区政の様々な課題について質問を行いました。

○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議の様子をご覧になりたい方は、お電話ください。

○また、総合支所と文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーでは、本会議や予算・決算特別委員会の様子を生中継しています。

○区議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様を生中継や録画中継でご覧いただけます。ぜひご利用ください。

○これからも、区議会の活動が区民の皆様にとって親しみやすいものとなるよう、議会広報の充実に努めていきます。

○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お知り合いでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

○本紙に関するお問い合わせは、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL(五四三)一一一代表
TEL(五四三)三〇三〇
FAX(五四三)三〇三〇

本紙に掲載された質問や答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(2月上旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

